令和６年度 補正予算は

新型コロナワクチン定期接種

4851万円

対象者　65 歳以上の人
60 歳以上 65 歳未満で病気などがある方
期間　令和6年10月1日から令和7年3月31日
自己負担費用　3000 円
非課税世帯、生活保護世帯は全て自己負担金無料

見守る隊おむつの定期便開始

125万円

（表紙・裏表紙参照）

中広川学童保育所の駐車場整備します。

585万4千円

学童の東側 287㎡を購入し、 職員駐車場を整備する。

プラスチック分別収集・再資源化の実証事業を始めます。

県補助金 95万円

モデル地区：長徳区
期間　９月 22 日～ 12 月８日
月２回収集　熊本の㈱エコポート九州で再資源化。終了後検証する。

広川ダムの上流公園の土砂を浚せつします。

県営事業 1,000万円（内町負担金 250万円）

教員不足の実態に対し、全会一致で意見書を採択し、議長名をもって福岡県知事並びに教育長に提出しました

要旨

教員不足の解消を求める意見書

本町の公立小学校、中学校においても、 令和６年４月始業時点で、正規教員　24 人の欠員が生じています。欠員分の臨時的任用教員を確保することもできず、年度当初から学級担任が不足し、町内３校の小学校のうち、２校においては、教頭などの管理職までが学級担任を兼ねなければならない異常ともいえる状況です。このような状況は、子どもたちや保護者にも不安感を持たせ、校務運営にも支障をきたし、教員の健康も脅かされる事態です。年度当初から、教員不足が生じているため、年度途中の産休・育児休暇・病休への代替教員の確保はさらに困難な状況です。

教員不足の原因の一つとして学校現場の多忙化、長時間勤務などの過酷な労働環境が背景にあります。教員の仕事に対する負のイメージをなくし、多くの志願者を確保するためにも、多忙化解消につながる教員の増員を行うことが必要です。

以上のことから、学校現場の疲弊と教員の多忙化を改善し、子どもたちの学びを保障するために教員不足解消のための抜本的な対策を強く求めるものです。特に、年度当初の教員配置において、教員不足にならないよう手立てをとる事を強く求めます。

令和６年９月 18 日